

第4回しまねナイスパートナー選定者一覧

	氏名	住居地	推薦理由(地域活動・地域への貢献)	推薦理由(その他)	推薦者
1	きょうむら 京村 まゆみ	津和野町	夫・真光氏とともに畜産経営にたずさわる傍ら、地域活性化を図るため地域住民とともに「左鐙の将来を考える会」を立ち上げ、会長として地域を盛り上げる方策を率先して立案、実施している。左鐙地区活性化奨励金制度の創設、左鐙の良さを知ってもらうため都会の子どもたちを集めての宿泊体験、地元の子どもたちを集めて牛の世話や野菜づくり体験活動を通じて自然の大切さや豊かさを学び交流を深める「さぶみ牧童探検隊」の実施など、多面にわたり活動を行っている。	地産地消をモットーとし、夫婦で繁殖と肥育を合わせた畜産を営んでいる。また、大自然を活かした「交流」をキーワードに活動しており、高齢化が進む中で地域の活性化に向けたいろいろな仕掛けづくりをお互いが知恵を出しながら取り組んでいる。	津和野町長 (農林課)
	きょうむら まさみつ 京村 真光		家畜人工授精師、受精卵移植師であり、繁殖牛80頭、肥育牛90頭を飼育する畜産経営者。地産地消をモットーとし、道の駅シルクウェイ日原で「京村牛」として販売を行っている。また、「左鐙の将来を考える会」の活動も積極的に行い、牧場を子どもたちに「動物とのふれあいの場」として提供するなど、開かれた牧場を目指して取り組んでいる。 県家畜商組合副会長、地区公民館長、町認定農業者協議会副会長など多くの役職をこなす。		
2	まるやま まちえ 丸山 真千江	浜田市	上今明自治会の福祉委員や、地域計画書策定委員会の文化厚生部長など、長年にわたり地域の女性リーダーとして活躍している。ごみ集積場の設置に尽力するとともに、地域の課題・解決方法を取りまとめた地域計画書の策定にも積極的に関わり、郷土芸能(田ばやし等)の保存継承を計画に盛り込み、取り組んでいる。 また、地域行事において地産地消に努め、地域のお年寄りが栽培したものを優先して扱うなど、地域の生きがい対策にも大きく尽力している。	上今明自治会は、全員が仲間として連帯して地域の保全や地域の諸問題を解決することを信条として、実践・推進している。上今明地域のモットーを「元気と笑顔」としているが、千尋氏の「元気」と真千江氏の「笑顔」で、ともに地域振興に率先して取り組んでいる、まさにナイスパートナーである。	浜田市長 (企画課) 上今明自治会
	まるやま ちひろ 丸山 千尋		平成17年4月から上今明自治会長に就任し、中山間地域の活性化事業に取り組んでいる。自治会が策定した地域計画書の具体化を図るため、上今明ふるさとどろんこ祭りや石見神楽かたりべの会の実行委員会を立ち上げ、開催した。 また、イノシシ被害の対策にも積極的に取り組み、全地域に電気柵を施し長年の地域の懸案事項の解決を図るなど、中山間地域で生活する住民にとって重要な取り組みを中心となって行っている。		
3	ゆばた きょうこ 湯畑 協子	松江市	夫・重信氏とともにイチジク栽培に取り組むとともに、栽培農家の女性によるイチジク加工品(姿煮、ジャム)づくりのリーダーとして、地域の特産品づくりに積極的に取り組んでいる。 また、趣味である舞踊で、チャリティや敬老会などにボランティア参加するとともに、地域の伝統芸能「島根大漁節」のリーダーとして、普及と保存継承に力を注いでいる。	夫・重信氏が大芦で1件(湯畑氏)にまで減ったイチジク栽培を地域に広めイチジク生産組合を立ち上げ、妻・協子氏が加工品づくりを担うなど、夫婦が協力して地域の特産品開発に取り組んでいる。また、それぞれに環境保全や伝統芸能保存などの地域活性化にも取り組んでいる。	くにびき農業 協同組合 島根支店長
	ゆばた しげのぶ 湯畑 重信		水稻の転作作物としてイチジク(蓬萊種)栽培に取り組み、大芦地区での普及に努め、大芦イチジクとして松江青果市場で取り扱われるまでに育て上げるなど、遊休農地の解消、地域の特産品開発に力を注いでいる。 また、地域住民とともにボランティア組織「大川桜クラブ」を結成し、大川(森田川)沿い桜の植樹や維持管理を行うなど、地域の景観保全にも取り組んでいる。 松江市農業委員としても活躍中。		

	氏名	住居地	推薦理由(地域活動・地域への貢献)	推薦理由(その他)	推薦者
4	かたらお ひろこ 荊尾 啓子	大田市	夫・衛氏とともに「静間ふるさと交流倶楽部」を地域で組織し、空き家を活用した海の体験活動の受入を行い、昔ながらの塩づくり体験や海ならではの食の提供を行っている。 また、公民館活動として「すみれ会」を結成し、子どもたちの豊かな食体験活動に取り組むとともに、地元のハマボウフウを使ったハマボウフウせんべいなど、地域の特産品開発にも力を注いでいる。	山村留学で受け入れた子どもたちがOB会を作り、「静間のおとうさん、おかあさん」と呼ばれ今でも交流を続けているなど、青少年の健全育成や交流人口の拡大に効果をあげている。 空き家を活用した体験活動も年間約500人の利用があり、大きな成果となっている。	ふるさと島根 定住財団 有馬誉夫
	かたらお まもる 荊尾 衛		大田市の活性化策として「山村留学」制度の導入を提案し、海の体験活動拠点として子どもたちを受け入れてきた。その後、「静間ふるさと交流倶楽部」を組織し、空き家を活用した海の体験活動の受け入れを行っている。 塩づくり体験で作る藻塩は質の高さから県内外から多くの注文がある。県内でも静間ふるさと交流倶楽部の指導により同様の取り組みを始めた地域もあり、田舎ツーリズムの先導的な役割も果たしている。		
5	たけした みちこ 竹下 美智子	川本町	夫・禎彦氏とともにエゴマ栽培に取り組み、エゴマを使ったクッキー、豆腐等の加工品を開発販売するなど、地域の特産品開発に努めてきた。安定した商品生産をするために、平成20年に加工グループ「エゴマの郷」を結成するなど、地域でのエゴマ料理の普及にも努めている。 また、田舎ツーリズムの取り組みとしてエゴマの油搾り体験、エゴマ料理づくり、農業体験などを取り入れ、積極的に活動している。	エゴマの栽培、加工品開発の第一人者として活躍し、平成17年に「川本エゴマの会」を設立し、積極的にエゴマの普及に努めている。また、今年6月に川本町で開催する「全国エゴマサミット」に向けて精力的に準備にたずさわるなど、エゴマを通して川本町のPR及び活性化に大きく寄与している。	川本町長
	たけした よしひこ 竹下 禎彦		平成14年からエゴマの栽培に取り組み、生産者仲間の輪を広げ、「川本エゴマの会」を設立。川本町を全国でも有数のエゴマ産地に育てあげた。また、エゴマ油、煎りエゴマ、エゴマ豆腐等の加工品の開発にも取り組み、今ではエゴマ製品は川本町を代表する特産品となっている。 また、妻・美智子氏とともに田舎ツーリズムに積極的に取り組んでいる。		
6	ながはま じゅんこ 永濱 順子	奥出雲町	本の読み聞かせボランティアの会「八川こども文庫」の代表を務め、地区や小学校での朝読書や読み語り交流会を実施し、子どもたちの読書活動の推進に貢献している。 また、療育学級の発起人として設立に尽力し、学級のボランティア講師として活動を行うとともに、共同作業所ふきのとうの設立やライトハウスライブラリーでの音訳ボランティアなど、障害者の自立支援と社会参加への取り組みを積極的にやっている。	夫婦それぞれの分野でお互いに強い使命感と信念をもって活動している。両氏が代表を務める会は、「横田山の会」が平成20年度自然環境功労者環境大臣表彰を、「八川こども文庫」は2006年度全国優良読書グループ表彰を受賞するなど、その活動は大変顕著であり、地域に対する貢献は大きい。	奥出雲町長 (地域振興課)
	ながはま てつお 永濱 哲夫		自然保護活動を行うボランティアの会「横田山の会」の会長として、船通山登山道の整備や、絶滅危惧種である山頂のカタクリの保護活動、自然観察会の開催など、自然保護活動に積極的に取り組んでいる。 また、町教育委員会が開催する「のびのびキャンプ」のインストラクターや、小学校でのゲスト講義、地元こども会で栽培体験活動を行うなど、自然環境教育の推進に貢献している。 また、地元の民泊体験施設でのそば打ち講師や、地域グループ「ぎばまークラブ」の代表を務め、地域で消費する木炭、竹炭の製作を行うなど、幅広い活動をおこなっている。		

	氏名	住居地	推薦理由(地域活動・地域への貢献)	推薦理由(その他)	推薦者
7	もくち れいに 森口 玲子	隠岐の島町	夫婦2人3脚で農業、自然体験交流を通じての青少年の健全育成に向けての取り組みとして、小学校や養護学校でのたんぼや野菜づくり等の体験学習の指導や、自家のくぬぎの森で自然を使った遊具での教室の開催等、多様な活動を積極的に行っている。また、民泊親和会では修学旅行の民泊受入を行い、島外の子もたちとの交流も積極的に行っている。 また、ダンボールコンポストの普及に向けて、地域での講習会を行うなどの取り組みを行っている。	子どもが大好きな夫婦で、子どもたちが安心して自然とふれあいながら心豊かに育てほしいという願いからの活動を中心に、様々な活動に取り組んでいる。自らのたんぼや畑を提供しての活動を率先して行い、学校と地域の橋渡し役として活躍している。 様々な活動を夫婦2人3脚で行い、今や隠岐の島ではなくてはならない存在である。	隠岐NPOセンター準備会 理事長
	もくち みつはる 森口 光春		妻・玲子氏とともに、農業、自然体験交流を通じての青少年の健全育成に向けての取り組みや民泊親和会のまとめ役を積極的に行っている。また、ぼたる村実行委員会の委員長として、子どもたち対象のぼたるの観察会や生息地調査などの企画運営を中心となって行っている。 光春氏独自の活動としては、手話サークル隠岐会長として、勉強会の実施や手話の普及を行うなど、手話活動での貢献も大きい。		
8	ひだか ちえこ 日高 千恵子	邑南町	農家民宿のオーナーであり邑南町や邑智郡の田舎ツーリズムの会長である夫・幸二氏と協力しながら田舎ツーリズムを盛り上げている。おもてなしの料理も夫婦で相談して独特で個性のある田舎料理を提供し、夫婦の人生物語を楽しみにやってくるファンも多い。 また、地域のボランティア団体「スムーズ市木」のメンバーとして、独居高齢者への声かけやお餅の配布など、地域ふれあい活動にも貢献している。	平成18年に邑南町田舎ツーリズム推進研究会が立ち上がる前から、グリーンツーリズムに夫婦で興味を持ち、自分たちなりのおもてなしを実践してきたことから、地域はもとより、訪れた都市住民の方からの信頼が厚く、リピーターも多い。 また、お互いが地域におけるボランティア活動に熱心に取り組む、共に認め合い協力しながら人と人のつながりやふれあいを大切に、地域活動に取り組んでいる。	邑南町長 (定住企画課)
	ひだか こうじ 日高 幸二		農家民宿「日高」を運営しながら、平成18年に設立された邑南町田舎ツーリズム推進研究会の会長を務め、邑南町の良さをPRするなど、邑南町の交流人口の増加に努めている。今年度からは邑智郡全体の田舎体験交流協議会の会長にも就任し、多くの会員をまとめ広域にわたり人望が厚い。新たに田舎ツーリズムに取り組む人材捜しにも意欲的に取り組むなど、邑南町で田舎ツーリズムが盛んになった功労者でもある。		
9	わたなべ あきこ 渡部 昭子	飯南町	保育所調理員として勤務していた頃から地産地消など食の安全にこだわり、長年、飯南町食生活改善推進協議会のメンバーとして、朝食メニューの提案等、地域への普及に努めてきた。 退職後、H18年度に自宅に「パン工房わたなべ」を設立し、安心安全にこだわった手づくりパンを地域の特産品として販売し大好評となっている。	地域に困ったことが起こると利害抜きですぐ手助けをする姿勢で地域の人に頼りにされている。非常に熱心で、住民のよりどころ的な活動を實質支えておられる。今後は後進の育成にも期待できる。 夫婦のパートナーシップは優れており、一緒にウォーキングを続けるなど互いに健康維持に努めながら、地域活動でも支え合っている姿勢は模範である。	飯南町長 (住民課)
	わたなべ くにお 渡部 國雄		建設業を営むかたわら、早くから地域の高齢化に危機感を抱き、川東地区農業を守る会を設立して地域での農地運営を行ったり、集落で難しくなった葬儀の運営を広域で行う組織を作るなど、地域住民の負担軽減を図る取り組みを行ってきた。また収穫祭等を企画運営し、常に地域が元気を失わないよう努力を重ねている。 また、建設業協会で「子どもを守るパトロール隊」を結成し、犯罪防止に努めている。		

	氏名	住居地	推薦理由(地域活動・地域への貢献)	推薦理由(その他)	推薦者
10	みうら ミナコ 三浦 ミナコ	江津市	<p>都野津婦人会の活動を、会の中心となって長年積極的に取り組んでいる。江津市連合婦人会長としても活躍している。</p> <p>また、地域の高齢者に給食を提供する「にこにこ給食活動」や地域の子どもたちを集めて様々な体験を行う「夏休み子ども学習」など、幅広い年齢層を対象に都野津地区を中心とした活動を多岐に渡って行っている。</p>	<p>長年の教員経験を活かし、夫婦それぞれが地域での役割を担い活動をしている。夫婦が共に得意分野を活かしたそれぞれの目線で、幅広い年齢の方を対象にした事業に力を注がれる様子は、これからの地域づくりのお手本になる。</p>	江津市長 (企画財政課)
	みうら としのり 三浦 敏功		<p>都野津健康づくり推進委員会の活動を積極的に行い、地域住民の健康づくりの意識向上に意欲的に取り組んでいる。</p> <p>また、市内の卓球教室などで、児童から高齢者まで幅広い年代を対象に卓球指導を行い、都野津地区でも卓球大会を開催するなど、卓球を通じた地域交流、活性化に努めている。江津市卓球連盟会長としても活躍している。</p>		
11	いけした くにえ 池下 邦枝	吉賀町	<p>夫・弘幸氏とともに、長年、地域の世話役をし、自宅を地域の話し合いの場に提供するなど、地域の中心的役割を担ってきた。昨年度から地域リーダー養成塾に夫婦で参加し、地元の彼岸花を活用した「ひがん花まつり」を地域の新しいイベントとして企画、実行委員長として運営するなど、常に持ち前の元気で地域を引っ張っていく存在。</p> <p>また、歌手である夫・弘幸氏とともに各地で公演を行い、地域に元気を与えている。</p>	<p>夫婦が住んでいる集落は大変小さな集落であり、地域を何とかしたいとの思いは大変強い。地域リーダー塾でも夫婦で参加し、地域資源を活用した取り組みを夫婦で共に学び、実践している。どちらか一方が中心となって活動する時は、もう一方は後方支援にまわり、常に二人三脚で取り組んでいる夫婦である。</p>	吉賀町長 (政策企画課)
	いけした ひろゆき 池下 弘幸		<p>青山譲二の芸名を持つ歌手であり、地元の有名人。県外でも公演を行うとともに、地域でも活動を行い、地元の人たちに元気を与えている。</p> <p>また、妻・邦枝氏とともに地域の世話役としても活躍。昨年度から定期的で開催されている地域リーダー塾の運営委員長として中心的な役割を果たし、蔵木地区で毎年開催されている「水源祭」を盛り上げるために、新たに「水源祭前夜祭」を企画、開催するなど、実践の面でも中心的な役割を果たしている。</p>		